

共通テスト（歴史総合+日本史探究）2026本試験 解説

第1問 歴史総合。テーマは「災害の歴史」だが、かなりの思考時間が必要。

問1 あ・い：Yのアフリカ分割は19世紀末頃、Xの大西洋三角貿易は17～18世紀で、あは誤文である。これには世界史寄りの知識が必要。一方、Sは薬用植物キナノキの移動でYはその「キナノキから作ったマラリア治療薬を活用しながら」の移動なので、S→Yの順でなければならず、知識不要で、いは正文と分かる。語群構成から、いが正文ならあは誤文なので、消去法を使えばあの知識は必須ではない。

う・え：Pは「人の移動に伴ってマラリア病原体の持ち込み」なので要因はX=大西洋三角貿易であり、奴隷貿易で、うは正文である。これには世界史寄りの知識が必要。一方、Q=ヨーロッパから南アメリカへの人の移動は、当然「コロンブスの西インド諸島到達」より後で、えは誤文と分かる。語群構成から、えが誤文ならうは正文なので、消去法を使えばあの知識は必須ではない。

問2 ア：下関条約で日本が獲得したのは台湾。イ：「第三世界の台頭」は第二次大戦後の現象。

問3 (1)あ：パネル2の1896～97年とガンジーらの非暴力・不服従（第二次大戦前後）とは時期が異なり誤文。い：パネル3の1984～85年とイタリアのエチオピア侵攻（ムッソリーニ政権）とは時期が異なり誤文。
(2)メモ1：前半は正しいが、後半が誤り（パネル3の飢饉は1984～85年だが降水量最多は1950年で重なっていない）なので誤文。メモ2：パネル2に「不作にもかかわらず穀物の輸出が継続」、パネル3に「隣国との戦争や国内政治の混乱を抱えており」とあり正文。

問4 ウ：レポート1の「1986年」はソ連崩壊前なのでCISではなくソ連。エ：レポート1の矢印は東欧も西欧も貫通しており、東西冷戦を構成する資本主義・共産主義の差異に関係していない。

問5 ②「気候変動に対する国際的な関心」は近年の地球温暖化などを指すので誤文。③生糸は重要な輸出品であったので誤文。④レポート2の最初に「江戸時代以来」とあるので誤文。①レポート2の最後によれば「一定の歯止め」は「主要なエネルギー源が変化したことにより」とあるので正文。石炭であると明記はないが、1900年頃「産業革命の過程」という表現から導けるし、他が誤文などで特定は可能。

問6 あ：前者は3.6%で後者は11.0%なので誤文。い：前者は28.8%で後者は71.2%なので誤文。う：アメリカ>中国>ブラジルで正文。X：正文。Y：五・四運動は関東大震災より前。グラフから読み取れる事柄と当時の状況の正文の組み合わせの意図がはっきりしないのが気になる。

問7 オ・カ：細かい年代はともかく阪神→東日本という順序は基本的。X：表2の2005年・2010年には、大きな震災は記載がないが史料ネットは結成されている。（実際には震災があったかもしれないが表2からは読み取れない）ので誤文。Y：表2の1995年の記載で民間団体の、2004年のまとめから政府の考え方が読み取れて正文と言える。

第2問 時代複合のテーマ史。テーマは「日本の漁業の歴史」だが、近代史ゼロだったのは驚いた。

問1 ①地引網は上方漁法なので（東北由来ではない）誤文。②九十九里浜は（干鰯の原料の）鰯の産地なので正文。③場所請負制は蝦夷地における松前藩の制度だから誤文。④俵物に鰯は関係ないので誤文。

問2 ア・イ：図2より、陸で作業する多数の網子が網を引くことは分かるだろう。ウ：ノート1に「必要経費を代金から差し引いて、その残りの半分が網元の収入になる」とある。これを図2に当てはめれば、 $(1000貫文 - 400貫文) \div 2 = 300貫文$ となる。

問3 ②ノート2によれば「管状の土錘が伝わった時期」は弥生時代だが、丸木舟が作られるようになったのは縄文時代なので誤文。他は正文。

- 問4 イ：資料は1239年＝鎌倉時代である。「近年、関東の工が置かれた」で地頭と分かる。X：荘園の年貢のうち「預所得分」つまり荘官分ではなく「公」と称されているので、荘園領主に納めるものと推定できるから正文。Y：荘官の収益（得分）であり、しかも荘園であるから、朝廷に上納しない。誤文。
- 問5 下線部㉓・㉔ともに正文。網元・網子は、網という資産を介する地主・小作のような階級と言える。

第3問 古代史で、絵画資料の読込問題。

- 問1 ア：読図で、弓・馬などの武装から検非違使の職務を判断する。イ：検非違使は令外官。
- 問2 年表や会話から応天門の変と判断できる。あは藤原不比等、いは藤原良房の説明。Xは承和の変、Y：問3(1)あは乙巳の変（大臣＝蘇我蝦夷・入鹿父子）、いは薬子の変（平城太上天皇の変）。
- (2) ①天武朝（←壬申の乱）。②天智朝（←白村江の戦）。③道鏡政権（←惠美押勝の乱）。④安和の変。⑤大化の改新（←あ）。「郡」でなく「評」なのがポイント。⑥嵯峨朝（←い）。
- 問3 メモ1：会話文にあるように巨勢金岡が事件＝応天門の変の時代（9世紀）の人であるなら、『伴大納言絵巻』の成立した時期＝院政期＝12世紀には生存していない。よって誤文である。メモ2：資料2に「いかに悔しかりけん」とあり、「善男の心境について推測している」ので正文。
- 問4 W・X：記紀は律令国家確立直後の奈良時代に編纂された。「律令体制の復興」ではない。Y：特に問題点はない。Z：似絵は肖像画なので「庶民の日常生活」は描かれていない。

第4問 中世史で、テーマは「中世における女性と政治との関わり」。

- 問1 ①和田義盛を侍所別当に任じたのは源頼朝なので誤文。②六波羅探題は承久の乱の後の設置なので誤文。③資料1に「実質は政子の世」、資料2に「尼二位が鎌倉を支配」とあるので正文。④『樵談治要』は15世紀なので誤文。「足利義尚に」で判断できる。
- 問2 あ：資料3に「自軍の大名小名たちに貸し付け」、資料4に「貸し付けた相手への経済支援ともなっていた」とあるので正文。い：資料3は応仁の乱であり、鎌倉公方の滅亡は永享の乱なので誤文。
- 問3 ア：八条院は鳥羽上皇の娘という高い身分であり開発領主ではない。イ：以仁王が平氏打倒の令旨を出しているのだから、平氏政権との強調ではない。
- 問4 あ：国司は、院などの知行国主に任命される側なので誤文。い：正文。X：領域型荘園（センター共通テスト史上これが初出題だと思われる）の説明として正しい。Y：後鳥羽→後白河院。
- 問5 ①儒教は古墳時代に伝来したので誤文。②ノート3の「17世紀後半」は文治政治期であり、「社会が不安定になり、武力が必要になり始めた時期」ではないので誤文。③ノート3に「男性を支えることが女性の美德とされるようになる」とあるので誤文。④ノート3に「女性と政治との関係を戒める箇条を入れた武家家訓も現れ」とあるので正文。

第5問 近世史で、テーマは「近世の城郭」。

- 問1 「中世から近世へ移行する時期」とは戦国・織豊期である。①城下町への集住が進んでいったので誤文。②正文。③台場の建設はペリー来航時なので誤文。④惣村の発展は中世の特徴なので誤文。
- 問2 語群構成として、あはW・Xのいずれか、いはY・Zのいずれかと組み合わせる。W：濃絵の説明として正しい。X：友禅染は元禄文化なので桃山文化ではない。Y：キリシタン版の説明として正しい。Z：蘭学は江戸中期以降なので桃山文化ではない。
- 問3 あ・い：資料は（設問文にある）1615年に実施された一国一城政策についての「雑説（うわさ）」だと読み取れるので、いを選ぶ。X・Y：武家諸法度と一国一城令。後者は初見史料であろうが、読めば内容として合致するのはYであると判断できる。

問4 あ：誤文。天守のある地域に寺社が集められることは少ないから。い：正文。概念図の河川が街道と交差していることから「物資流通の動脈」が正しいと判断できる。う・え：概念図の灰色の部分は街道の両側に沿っており、商業に好都合と考えられるだろう。

問5 近世の大間なのに前近代のテーマ問題。①朝鮮式山城は白村江の敗戦後に防衛施設として作られたので誤文。②・③・④いずれも正文。

第6問 近現代史で、テーマは「近現代の日本における政治的リーダーシップ」。昨年以上に近代史、特に明治時代の出題が少なく、バランスが悪い。

問1 PKO協力法（宮沢内閣）の背景についての判断。あ：村山富市内閣の説明であり、時期が55年体制崩壊後なので誤文。い：海部内閣の掃海艇派遣の説明で、正文。

問2 資料1は自民党、資料2は社会党である。

あ・い：「1950年代後半」=55年体制下なので、いは「資料1の政党は内部対立から分裂し」で誤文と判断できる。従って、あは正文であり、資料2は民社党の成立を指しているがやや細かく、平和条約を巡っての左右分裂と混乱したかもしれない。「1950年代後半」がポイント。

う・え：公害問題、環境庁、革新自治体は、いずれも高度成長期の出来事であり、えが正文である。

問3 今回唯一の時代順問題。Iは二・二六事件、IIは東条内閣の成立、IIIは満州事変。III→I→II

問4 あ・い：ノートの「不在中の大臣事務を自ら管理するという「新例」と合致するのはあである。

X：正文。Y：山東出兵は田中義一内閣であり誤文。

問4 ①初期議会は内閣と議会は基本的に対立したので誤文。②は昭和電工事件「政党を基盤とする初めての政党内閣」は隈板内閣であり、短命だったので誤文。③第一次若槻内閣の説明で正文。④占領下で社会党の片山哲が連立内閣を組織した。社会党は無産政党の系譜をひくが、連立で短命だったので誤文。

歴史総合、日本史探究（100点満点）

問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	問題番号(配点)	設問	解答番号	正解	配点	
第1問 (25)	A	1	1	3	第4問 (15)	A	1	20	3	3
		2	2	3			3	2	21	2
		3	3	4		3	3	22	2	3
			4	2		3	4	23	3	3
	B	4	5	4	3	5	24	4	3	
		5	6	1	4	第5問 (15)	1	25	2	3
		6	7	5	3		2	26	1	3
7	8	2	3	3	27		4	3		
第2問 (15)	1	9	2	3	4	28	4	3		
	2	10	1	3	5	29	1	3		
	3	11	2	3	第6問 (15)	1	30	3	3	
	4	12	3	3		2	31	2	3	
	5	13	3	3		3	32	5	3	
第3問 (15)	A	1	14	2	3	4	33	1	3	
		2	15	3	3	5	34	3	3	
	3	16	1又は2	3*	(注) *は、解答番号16で1を解答した場合は5を、2を解答した場合は6を正解とし、点を与える。					
		17	解答番号16が1の場合は5 解答番号16が2の場合は6							
	B	4	18	2	3					
		5	19	1	3					

例年通り、時間を要する思考問題が多い。また今年も戦後史が約12%あった。歴史総合が比較的古い時代(19世紀)を多く出し、また思考問題がやや煩雑で、今年も苦戦しそう。XY型の正誤問題は5問と多く、時代順が1問と少なかった。

平均は昨年なみの56点と予想します。